

会報第21号



ふれあいネットワーク

八雲町社協だより

共に助け合い、共に支え合う、安心して暮らせる
あたたかい福祉のまちづくりを目指して

八雲町デイサービスセンター

毎月楽しい行事を行っており、利用者さん一人ひとりの日々の生きがいの場として、また、生活の「ハリ」と「リズム」を作れる場として頂ければ幸いです。



「八雲そば研究会」の協力により、そば打ちの実演をしていただき、昼食には打っていただいたそばをいただきました。



新年会 (左)、クリスマス会 (中)、おひなまつり会 (右) この他にも様々な事を企画し、実施しております

平成23年度 八雲町社協事業計画

基本方針

社会福祉協議会は、制度内の福祉サービスを実施するほか、社会福祉活動への住民参加のための呼びかけ・支援、社会福祉を目的とする事業の普及、宣伝、連絡調整及び助成等を行う組織として、また、福祉関係者と福祉活動を担う住民・ボランティア等により構成される組織として、誰もが安心して充実した生活が送れるよう、助けあい、支えあいを基本とし、今後もその役割を果たしてまいります。

地域福祉の推進にあたっては、柔軟な運用、組織の持つ資源（専門性・拠点・ネットワーク等）の活用、相談・調整機能の発揮が重要であり、一層の充実に取り組んでまいります。

また、経済の低迷や人びとの生活不安が高まっている中、制度では対応しにくい新たな福祉課題・生活課題の対応や要援護者に対する総合的な相談支援機能も大切であり、地域資源の力を借りながら公共性と公益性をもった福祉団体としての使命を果たせるよう努めてまいります。

4月1日で新八雲町社会福祉協議会が設立して5周年となります。これを機会に社協のしおりを作成するとともに、周年を意義深いものとするため今年度の各種事業に周年の冠をつけ実施してまいりたいと存じます。

地域に根ざした社協としての役割と信頼を確かなものとするため、役職員一丸となって、今までの成果と実績を踏まえ、各関係機関との連携を密に図りながら、ともに助け合い、ともに支え合う、あたたかい福祉の町づくりを目指し、次の重点推進事項を積極的に展開し、住民の皆様とともに満足いただけるサービスの提供に取り組んでまいります。

さらに、町からの受託事業の適正な遂行及び通所・訪問介護・居宅支援各介護保険事業所の健全経営に努めてまいります。

重点推進事項

(1)第3期地域福祉実践計画の推進

第3期地域福祉実践計画については、地域住民、関係機関・団体との連携、協力を得ながら、着実な事業の実施を図ってまいります。

(2)地域福祉、在宅福祉活動の推進

個人が人としての尊厳をもって、家庭や地域社会の中で、その人らしい生活を送れるよう支援することが社会福祉の理念であります。そのため、すべての人を包み支えあいを基礎に、地域の社会資源の活用や多様な活動支援を行うなどして、地域福祉・在宅福祉活動を推進してまいります。

また、単にサービスを提供するだけでなく、地域住民の生活を総合的に支援する視点も重視してまいります。さらに、制度の谷間への対応についても意を配してまいります。

今年度から、少額であります福祉基金運用益を活用し、地域福祉活動への支援を行ってまいります。

町内会等が行っている安心ほっとネットへの協働、ふれあい広場の開催及び福祉機器貸付についても、引き続き取り組んでまいります。

第3回を迎える福祉懇談会は、地域福祉のさらなる発展を目指し内容充実に努めてまいります。

在宅福祉活動については、町からの受託事業が中心となりますが、福祉サービスの質の向上と充実に努力してまいります。

(3)ボランティアセンターの運営とボランティア団体との連携

今年度から、すべてのボランティア事業予算をボランティアセンター事業特別会計へ移行するとともに、ボランティア協議会がより活動しやすいような助成支援を図り、ボランティアセンターの組織充実に努めてまいります。



(3) 八雲町社協だより

また、愛情銀行は多くの町民の善意により運営されておりますことから、適切な事業の遂行とその役割を広く周知し、実績が一層上がるよう努力してまいります。

福祉ボランティアに関心を持つ住民等に対し、事業の周知や活動の参加を呼びかけるなど、ボランティア活動のコーディネーターとしての役割を發揮できるよう努めてまいります。

また、各ボランティア団体への一層の支援・連携にも引き続き取り組んでまいります。

(4)介護保険事業所の健全経営

介護保険法及び障害者自立支援法に基づく通所介護・訪問介護・居宅支援の各事業所の運営に当たっては、利用者のニーズの把握に努め、質の高いサービスを提供することはもちろんであります。地域の重要な社会資源としての力を發揮できるよう進めてまいります。

また、利用者の確保を図り健全経営に努めてまいります。

(5)生活一時金・生活福祉資金の貸付事業の実施

経済的、社会的基盤の不安定な低所得世帯等へのセフティーネットである生活一時金・生活福祉資金貸付事業の実施にあたっては、自立支援を視点に適正に運営してまいります。

(6)町からの受託事業の実施

町から受託した事業の実施に当たっては、その目的達成のため円滑な遂行を果たしてまいります。なお、受託事業は次のとおりです。



- ①八雲町総合保健福祉施設シルバープラザ管理業務
- ②寝たきり高齢者等移送サービス事業（八雲・熊石地域）
- ③高齢者等給食サービス支援事業（八雲地域）
- ④緊急通報体制整備事業（八雲・熊石地域）
- ⑤生きがいデイサービス運営事業（八雲地域）
- ⑥要介護認定調査業務（八雲地域）
- ⑦介護予防サービス計画作成業務（八雲地域）
- ⑧高齢者生活指導員派遣事業（熊石地域）
- ⑨独り暮らし高齢者訪問事業（熊石地域）

(7)相談・権利擁護事業

心配ごと相談所の運営のほか、社協の特性を生かし日常的に各種事業や活動をつうじ住民の悩みごとや心配ごと等の相談に応じ、適切な助言、援助等を行い、不安解消に取り組んでまいります。

また、日常生活を営むのに支障がある方の権利擁護（日常生活自立支援事業）に資するため、道社協と連携して各種サービスのお手伝いをつうじ地域で安心して生活できるようサポートしてまいります。

(8)財源の確保と財政の確立

社協の運営及び活動財源は、町からの補助金や委託金、介護事業に伴う介護報酬、そして、独自財源であります個人会費・賛助会費等、共同募金助成金など多様な財源でまかなわれております。引き続き町の支援を得るとともに会員の加入促進等に努め、安定した独自財源の確保に取り組むとともに有効活用にも努めてまいります。

①会費納入について

昨年度から1世帯500円となりました会費は、社協運営の重要な独自財源となっております。社協の役割を一層周知し各町内会等の理解と協力が得られるよう努めてまいります。

また、賛助会費についても不況により経済の見通しが不透明であります。加入促進に努力してまいります。

②共同募金運動への協力

赤い羽根共同募金は住民の善意と助け合いの精神により、地域福祉活動の重要な自主財源となっていま

八雲町社協だより

すが、近年、募金額が減少傾向にあります。そのため、八雲町共同募金委員会が実施する募金活動に社協としても積極的に参加協力してまいります。

また、助成金の使途にあたっては、福祉団体への支援を第一義に考え減少分は社協が努力する方法で臨むこととしています。

③福祉基金積立について

今年度は、愛情銀行の繰越金のうちから100万円を福祉基金へ積立いたします。これにより基金総額は1,600万円となります。

(9)社協組織運営の充実

①啓発・広報活動

「社協だより」・「支所だより」を年4回発行し、各種事業や行事の周知を図り社協活動の啓発に努めてまいります。

また、昨年12月開設したホームページを有効活用し、広報活動の一層の充実を果たしてまいります。

旧八雲町・熊石町社協が合併して5年を契機に、社協のしおりを作成してまいります。

②組織運営の充実強化

評議員会・理事会・各委員会及び正副会長会議等を必要に応じ開催するほか、研修や情報収集を図り地域福祉の推進役としての役割・機能を果たす社協運営に努力してまいります。

また、法人本部・各介護保険事業所の効率的な経営に努め安定した活動基盤の整備を図ってまいります。

③地域間交流の促進

八雲・熊石両地域の交流は、合併5年を経て確かな手応えを感じてきています。今後も各種行事・事業等の参加交流をつうじ、地域間交流が高まっていくよう促進してまいります。

平成23年度八雲町社会福祉協議会の主要事業

(1) 介護保険事業

- ① 指定居宅介護支援事業（ケアマネジャー事業）
- ② 指定通所介護事業並びに指定介護予防通所介護事業（デイサービス事業）
- ③ 指定熊石訪問介護事業並びに指定介護予防訪問介護事業（ヘルパー事業）
- ④ 指定くまいし居宅支援事業（3障がいに対するヘルパー事業）



(2) 総合的な生活支援事業

- ① 乳酸飲料無料宅配事業
 - ② ふれあいひろば開催事業
 - ③ ベッド、車椅子等福祉機器の貸与事業
 - ④ 福祉懇談会開催事業
 - ⑤ ボランティア育成支援事業
- ※受託事業を除く。

(3) 自立生活を促進する経済支援事業

- ① 生活福祉資金の貸付事業
- ② 生活一時金の貸付事業

(4) 地域に密着したサービスの支援・開発事業

青少年の健全育成、障がい者、高齢者及び福祉団体については、赤い羽根共同募金の助成金により、財政支援、運営育成指導事業等を推し進めます。

(5) 介護保険及び在宅福祉サービス事業情報の公表

社協だよりの発行やホームページを開設し、それらを利用して、情報提供を定期的に登載し、啓発してまいります。

(5)

八雲町社協だより

平成 23 年度八雲町社会福祉協議会一般会計予算

(収入)

(支出)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
会 費 収 入	3,652	人 件 費	89,005
町 補 助 金	31,216	事 務 費	6,935
受 託 金 収 入	25,843	事 業 費	14,274
共同募金配分金収入	2,221	助 成 金 支 出	30
介 護 保 険 収 入	51,661	共 同 募 金 助 成 金	2,221
自 立 支 援 費 収 入	108	会 計 単 位 間 繰 入 金 支 出	287
雑 収 入	21	経 理 区 分 間 繰 入 金 支 出	803
会 計 単 位 間 繰 入 金 収 入	1,000	積 立 預 金 積 立 金 支 出	1,564
経 理 区 分 間 繰 入 金 収 入	1,163	予 備 費	768
受 取 利 息 配 当 金 収 入	37	施 設 整 備 支 出	1,035
合 計	116,922	合 計	116,922

特 別 会 計 予 算

(収入支出同額)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
ボランティアセンター	2,157	小口資金貸付事業	751
生活一時金貸付事業	1,750	生活福祉資金貸付事業	183

生活福祉資金貸付事業について

他の制度が利用できない低所得者、障がい者、高齢者世帯に対し安定した生活を目指すことを目的とし、必要な相談支援と貸付を行います。

資金の種類

- 1. 総合支援資金
- 2. 福祉資金
- 3. 教育支援資金
- 4. 不動産担保型生活資金

利用できる方

- ・低所得世帯…世帯の収入が一定基準以下の方
- ・障がい者世帯(身体・知的・精神障がい者世帯)
- ・障害者自立支援法によるサービスを利用している方の属する世帯
- ・高齢者世帯…日常生活上介護を要する65歳以上の高齢者の属する世帯

連帯保証人 原則として1名

民生委員からの支援

申込み時から貸付、償還完了まで、担当民生委員が相談・支援にあたります。

※相談は電話(64-2112)でも受付けています。

後日、社協役職員がお伺いいたしますので、社協の地域福祉事業にご理解いただき、一口以上のご配慮下さるようお願いいたします。

◎ 賛助会費 一口 三〇〇〇円

◎ 一般会費 五〇〇円
本年度もご理解賜りご協力下さるようお願いするとともに、全戸加入下さるようご協力をお願いします。

当社協は、町民皆様のお力添えに支えられながら、地域福祉、在宅福祉そして介護保険事業所の運営を推し進めております。社協の運営財源は、町民皆様から収めていただく会費、町補助金、受託事業の受託金、赤い羽根共同募金の助成金、そしてボランティアセンター(愛情銀行)によせられた寄付金(浄財)、介護報酬等により賄われています。主な使用道は、職員の人件費、介護保険事業、毎年開催するふれあい広場事業(敬老会)、在宅福祉事業(移送サービス事業、給食宅配事業、緊急通報システム設置事業等)、会報(社協だより)発行事業、各種福祉団体、青少年団体への助成事業等に使用しております。お願いする会費は次のとおりです。

会費納入・全戸加入のお願い

平成22年度 赤い羽根共同募金運動

～ご協力ありがとうございました～

昨年10月1日から3ヶ月間展開してまいりました「赤い羽根共同募金運動」に多くの皆さんからご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

共同募金を取り巻く環境は、長引く景気低迷の中で非常に厳しい状況にありましたが、町民の皆様や企業の皆様などのご協力と関係各位の多大なご尽力によりたいへん大きな実績を収めさせていただくことが出来ました。

皆様からお寄せいただいた善意は、八雲町の地域福祉を推進していく事業費として有効に活用させていただきますので、今後ともご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成22年度共同募金実績額

募金方法	募金額
戸別募金	1,855,345円
街頭募金	290,813円
法人募金	1,400,000円
学校募金	103,836円
職域募金	58,078円
興行募金	76,708円
その他募金	32,013円
合計	3,816,793円



平成22年度共同募金実績の内訳

北海道の福祉を推進する事業へ

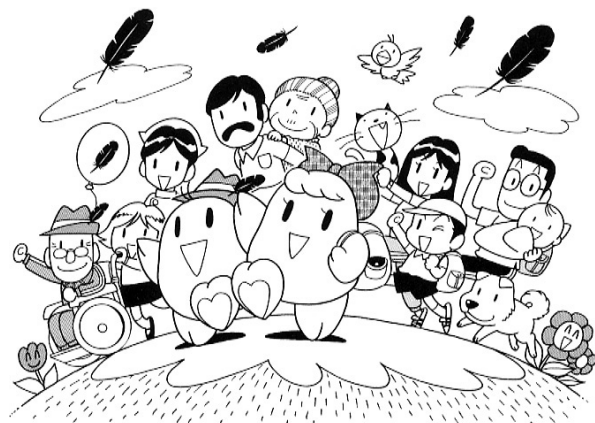
875,000円

渡島管内の福祉を推進する事業へ

85,500円

八雲町の福祉を推進する事業へ

2,856,293円



八雲町の福祉を推進する事業の内訳

高齢者のために	511,000円
障がいのある方のために	160,000円
子どもたちのために	341,000円
母子・父子のために	110,000円
地域福祉推進のために	1,009,000円
ボランティア活動のために	90,000円
福祉団体へ助成（3団体）	180,000円
八雲町共同募金委員会事務経費	455,293円
合計	2,856,293円

ボランティアスクール開催

去る3月5日に平成22年度ボランティア関係者、一般の方々、福祉に興味のある方を対象に約70名ほどの参加がありました。

午前・午後の部に分かれており、午前には函館在住の落語家、東家夢助氏を講師としてお招きし、「夢助の泣き笑い人生」をテーマに講演され、昔ながらの人と人の付き合い方などを自身の体験談などを交えなが



ら面白おかしく講演していただき、参加者は終始笑顔で聞いていました。

午後からは「心も体も元気はつらつ！簡単ラクラクストレッチ体操」をテーマに八雲総合病院リハビリテーション室 理学療法士



小岩江里子氏による講習会が行われました。ボランティア活動などで疲れた体をストレッチでほぐす方法などの講習を受け、皆さん熱心に身体を動かしていました。



ボランティアに参加してみませんか!!

ボランティア活動をしてみたいけど・・・何ができるかわからない？どのように参加し、行動したらよいかかわからない？という人も多いと思いますが、ボランティアは「できる人ができるところからの活動」です。

社協では多くのボランティア参加者を募集しています。

あなたも気軽にボランティアに参加してみませんか？



始めてみよう!!



ボランティア活動に参加するには、個人で参加する方法と、地域のボランティア団体に加入し活動する方法があります。

また、ボランティアスクールに参加し、仲間づくりから始める方法もあります。

詳しくは、八雲町社会福祉協議会へお気軽にご相談ください。

皆さんの温かい善意のご寄付ありがとうございました

ボランティアセンター（愛情銀行）

平成22年12月16日～平成23年4月15日（順不同・敬称略）



※八雲町体力づくり民謡踊りの会の寄贈写真ですが、追加寄付があったため掲載額と異なっております。

一般寄付

- 松本良一 落部 300,000円
- 八雲町体力づくり民謡踊りの会 80,217円
(昭和56年度より継続)
- 四平勝敏 熊石相沼町 100,000円
- 竹内信弘 熊石西浜町 30,000円
- 土井院長を送る会 28,257円
- 匿名 50,000円

物資寄付

- 柳谷竹四郎 栄浜 フェイスマスク60枚
- 八雲ボランティア (平成10年度より継続) バスタオル16枚、雑巾20枚
- 八雲町母子寡婦会 フェイスタオル60枚
(平成17年度より継続)
- 匿名 雑巾109枚

社協活動メモ

十二月

- ・ 仕事納めの式（十二月二十九日）

一月

- ・ 仕事始めの式（一月五日）
- ・ 第五回八雲町子どもかるた大会
- ・ 八雲町身体障害者福祉協会新年会
- ・ かつら共同作業所新春の集い
- ・ 熱田遊楽クラブ総会
- ・ 八雲ボランティア新年親睦会
- ・ 第3四半期定期監査
- ・ 八雲町民生委員協議会新任委員研修会
- ・ 第五回理事会
- ・ 第三回八雲町共同募金委員会理事会
- ・ 中・高生冬休み体験ボランティア

二月

- ・ 正副会長会議
- ・ 落部婦人ボランティア新年会
- ・ 東野老人クラブ福寿会新年総会
- ・ 平成二十二年北渡島地区「地域に理解され支持される社協づくり研修」 七飯町文化センター
熊石身体障害者福祉協会新年の集い
第二十回ふれあい演芸会

三月

- ・ 平成二十二年北渡島檜山保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会
- ・ ボランティアスクール
- ・ 第五十二回八雲町母子寡婦会総会
- ・ 第六回理事会
- ・ 平成二十二年第二回渡島管内社協職員連絡協議会研修会
- ・ 渡島管内社会福祉協議会巡回個別支援 函館市

第二回評議員会

- ・ 平成二十二年北渡島地区地域福祉生活支援センター生活支援員研修会 渡島振興局
- ・ 八雲町体力づくり民謡踊りの会お別れの会
- ・ 平成二十二年北渡島檜山保健医療福祉圏域連携推進会議
- ・ 平成二十二年第一回八雲総合病院運営検討会議

四月

- ・ 年度初め式
- ・ ケアハウス竣工式、祝賀会
- ・ 八雲ボランティア総会
- ・ 立岩羽衣会通常総会

HP開設しました！

このたび八雲町社会福祉協議会のホームページを開設しました。社協の概要や事業紹介、介護保険事業所、共同募金、ボランティアの情報の他、社協だよりも掲載しておりますので、是非ご高覧下さい。



アドレスは下記のとおりです。
<http://www.yakumo-syakyu.or.jp>

会報第二十一号 ◎八雲町社協だより◎

平成二十三年五月一日発行
二海郡八雲町栄町三十一
社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

TEL 01337-641211
FAX 01337-63160

赤い羽根共同募金の助成金は、八雲町社協だよりの発行にも役立てています。